

いじめを許さない桑名の子どもたち！

市では、平成26年5月「桑名市いじめ防止基本方針」を策定し、市・市教
育委員会・学校・家庭・地域住民・その他の関係者が互いに連携して、いじ
めのない社会・学校の実現をめざしたさまざまな取り組みをすすめています。

「いじめを許さない桑名の子どもたちに」という願いをもって、すべての人で
すべての子どもたちを支え、見守るとともに、わたしたち一人ひとりが互い
の存在や思いを大切にできる社会をつくっていきましょう。

いじめの根絶には、正しい理解と行動が必要です！

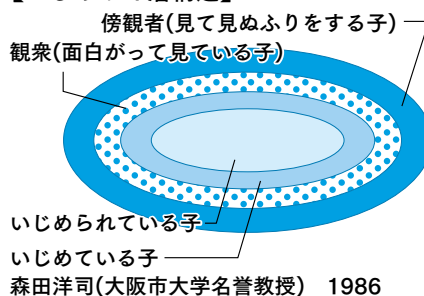
桑名市いじめ問題専門委員会で示された「桑名市におけるいじめの防止等の施策について」では、いじめを「いじている子といじめられている子の二者間の問題と捉えてはいないか」と指摘した上で、**いじめはよくないと全員が分かっているのにいじめが起こるのはなぜかを考えることが重要である**と述べています。

国立教育政策研究所の調査結果によれば、小学校4年生から中学校3年生までの6年間で、いじめの被害経験を全く持たなかった子どもは1割程度、逆に加害経験を全く持たなかった子どもも1割程度で、多くの子どもが入れ替わり被害や加害を経験しています。つまり、いじめは「どの子どもにも、どの学校でも、起こりうる」「すべての子どもに関係する」問題であるといえます。

いじめは二者の問題ではない

いじめは、いじている子といじめられている子、その周囲で、その様子を見てはやしたたり面白がったりする「観衆」の立場や、いじめの事実を知りながら見て見ぬふりをすることで結果として暗黙の了解を与える「傍観者」の立場にいる子どもを含めた、集団の問題です。

【いじめの4層構造】



どんなに理由をつけてもいじめは許されない

いじめをしてもよいということは絶対にありません。どんなに理由をつけても、その行為そのものが間違っているからです。集団の中に、互いの関係を「できる・できない」「する・しない」「同じ・違う」といった二つの対立のように見立て、相手を攻撃する（はずす）雰囲気、それを許容する雰囲気があることが、いじめを生む大きな要因となっています。加えて「自分には関係がない…」「関わったら今度は自分が…」といった心理も、いじめを止めようとする行動を弱めると考えられます。

いじめから子どもを守るために

いじめのサインを見逃さないで！学校・家庭・地域の連携を！

学校・家庭・地域、子どもたちを取り巻くすべての大人が、日々の様子を丁寧に見守りましょう。小さな変化などに、素早く対応することが大切です。

いじめのサインの例

衣服の汚れが目立つ、ケガをよくする、持ち物がなくなる・壊れる、口数が減る、あいさつをしなくなる、登校時に体調不良を訴える、言葉づかいが荒くなる、食欲がなくなる、一人でいようとする、表情が暗くなる など

ネットいじめやトラブルを防ぐ2つのポイント

家庭のルールを決める

- ・長時間使用にかかわることなど、一つに絞って無理のない設定にしましょう。
- ・大人も一緒に、家族みんなで取り組めるものにしましょう。

インターネットの特性を知る

- ・内容の真偽や程度をつかみにくい上に、感情的になりやすくなります
- ・表情が見えない、短文で文字だけの情報は、誤解が生じやすくなります。
- ・一度発信した情報は取り戻せません。匿名性があるとは言えません。

児童生徒によるいじめ根絶をめざした取り組み

市では「いじめ・不登校をなくす取り組みの推進」を掲げ、いじめの未然防止等の取り組みの充実を図っています。本年度も市内の各小中学校では、11月のいじめ防止月間を中心に、いじめ防止標語づくりや児童会によるポスター掲示、人権集会の開催など、児童生徒の活動や行動を通して、いじめをなくそうとする思いを高めるとともに、いじめを容認してしまう自分を見つめるなど、子どもたちの実態に合わせたさまざまな取り組みをすすめます。

全校人権集会(平成28年度)

大成小学校

前年度までの「いじめゼロ集会」を発展させ、全校人権集会を開催しました。各クラスで話し合った標語やメッセージを発表しました。



「ありがとう
その一言で
すぐ笑顔」

ハイタッチあいさつ運動

在良小学校

お互いの関係をつなぎ、深める一番の方法は、あいさつ。より盛り上がるあいさつ運動として「ハイタッチ」に取り組んでいます。



おはよう
ございます！

大人の意識化、行動も大切にしています

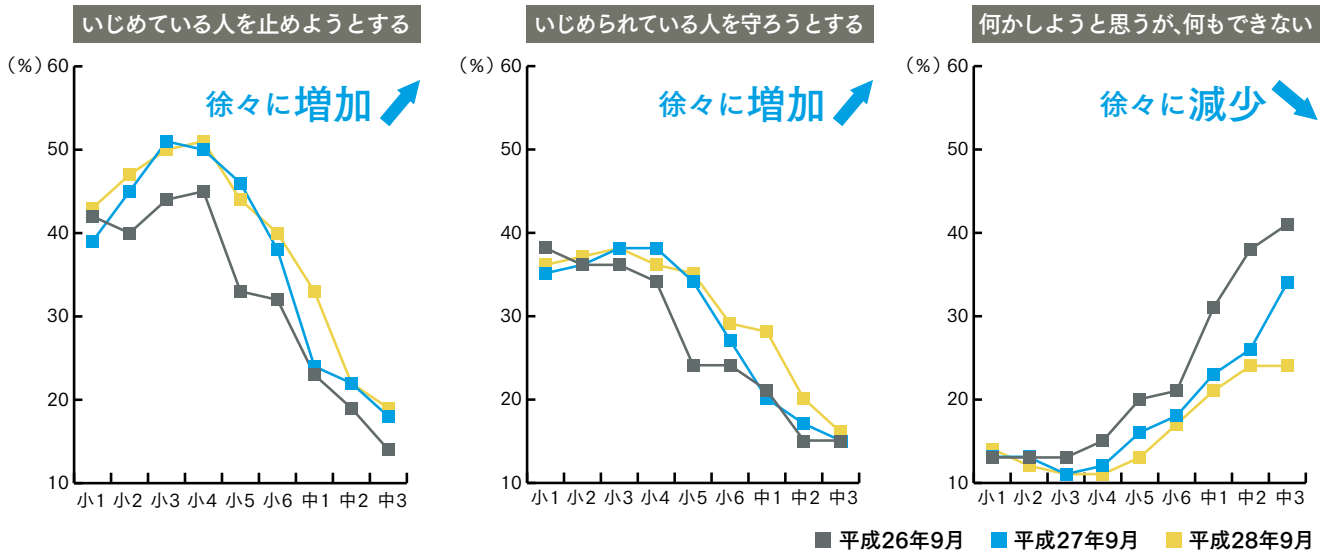
桑名市いじめ問題対策連絡協議会では、毎年2月に市民・保護者の皆さんと学習会を行っています。平成29年2月にはいじめをなくすという思いを込めてアクションメッセージ作りに取り組みました。日常の場面で子どもとの関わりを深める行動を考えました。来年2月にも参加型の学習会を開催します。学校などを通してご案内する予定です。



少しずつ、子どもの内面が変わっています！

市教育委員会が毎年実施している「いじめに関する意識・態度についての調査」では、年々、いじめを抑止しようとする意識が高まり、何もできないという意識は次第に下がっています。

【質問：いじめがあると知ったらどうするか】



問 指導課 (☎ 24-1241 FAX 24-1358)